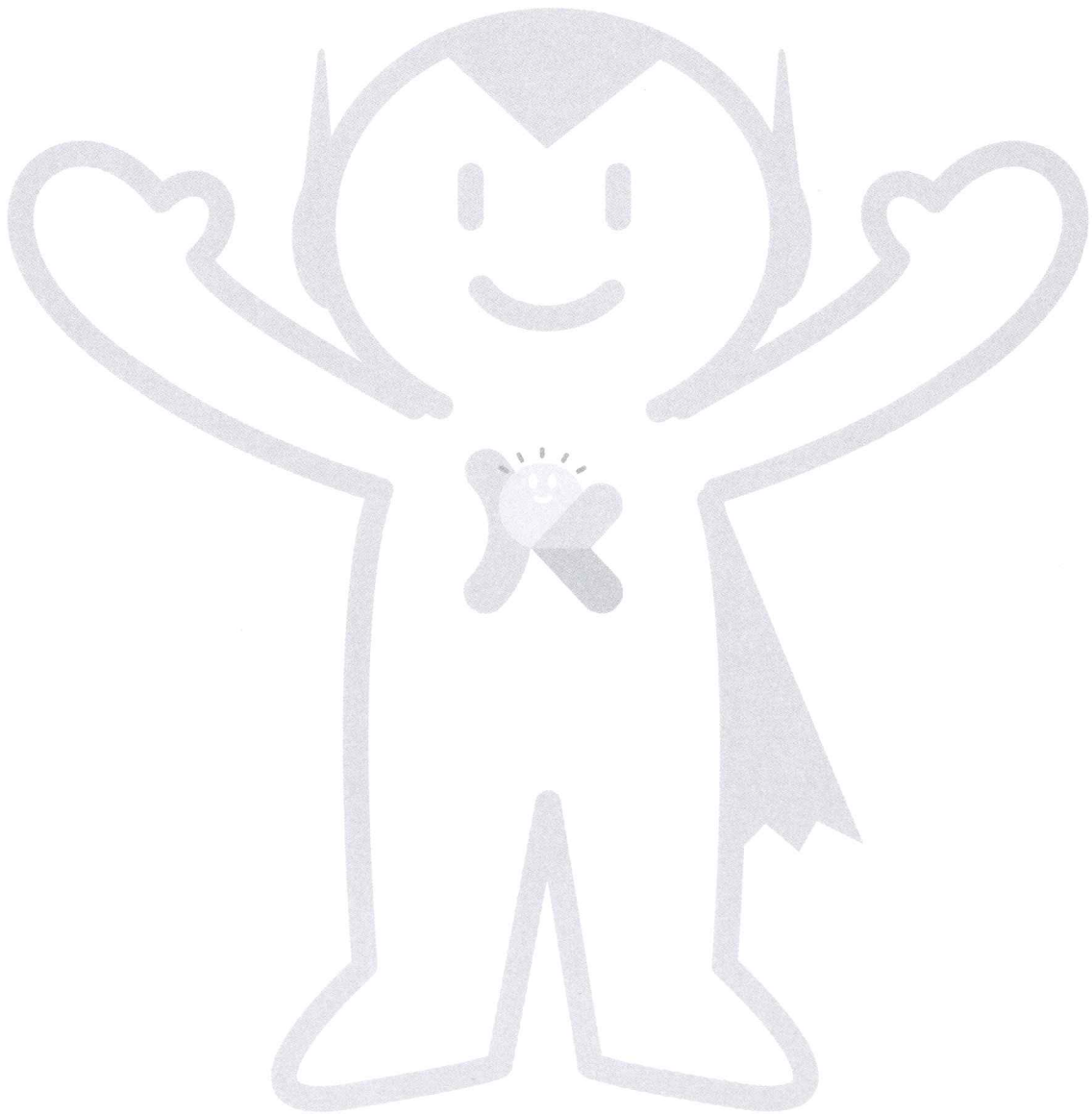


香川県農業協同組合プロフィール

JA-KAGAWAKEN PROFILE



おかげさまで
合併20周年



21世紀の香川を拓き、耕し、共に飛躍する。

2020



JA-KAGAWAKEN PROFILE

香川県農業のあらまし

香川県の県土面積は、国土面積の0.5%と全国で最も狭いものの、平野部が多く耕地面積は30,200ha(平成30年)で全国の0.7%を占めている。

香川県の農家1戸当たりの耕地面積は0.9haと全国平均(2.1ha)の半分以下で農業経営規模は零細であるが、ため池や香川用水などにより農業用水を確保し、農地の効率的な利用や経営の複合化を図り、生産性の高い農業が営まれてきた。

また、恵まれた気候や立地条件の下、収益性の高い作物を中心にレタス、ブロッコリー、金時ニンジン、マーガレットなど全国に誇れる特色ある農産物が栽培され、県内はもとより京浜や京阪神地域等に対し、新鮮で良質な農産物を供給している。

香川県農業の基礎的指標

区分	香川県	全国比率	全国順位	全国計(全国平均)
農家戸数(平成27年2月1日現在)	35,163戸	1.6%	29位	2,155千戸
農家人口(販売農家)(平成27年2月1日現在)	70,957人	1.5%	30位	4,880千人
耕地面積(平成30年7月15日現在)	30,200ha	0.7%	40位	4,420千ha
1戸当たり耕地面積	0.9ha	—	42位	2.1ha
水田比率(平成30年7月15日現在)	83.1%	—	8位	54.4%
経営耕地面積(平成27年2月1日現在)	20,558ha	0.6%	39位	3,451千ha
農業経営体数(平成27年2月1日現在)	20,814経営体	1.5%	31位	1,377千経営体
1経営体当たり経営耕地面積(平成27年2月1日現在)	0.99ha	—	41位	2.51ha
農産物作付延面積(平成29年)	25,200ha	0.62%	40位	4,074,000ha
水稲	12,800ha(51%)	0.87%	36位	1,465,000ha(36%)
麦類	2,550ha(10%)	0.93%	19位	273,700ha(7%)
大豆・そば・なたね	105ha(0%)	0.05%	41位	215,080ha(5%)
その他(野菜・果樹・花きなど)	9,745ha(39%)	0.46%	38位	2,120,220ha(52%)
耕地利用率(平成29年)	82.6%	—	34位	91.7%
耕地(本地)利用率(平成29年)	88.7%	—	33位	95.5%
農業産出額(平成29年)	835億円	0.89%	36位	93,787億円
米・麦類	124億円(15%)	0.69%	40位	17,894億円(19%)
野菜(いも類含む)	257億円(31%)	0.96%	30位	26,703億円(29%)
果実・花き	91億円(11%)	0.77%	36位	11,888億円(13%)
畜産	345億円(41%)	1.04%	27位	33,223億円(35%)
その他	18億円(2%)	0.44%	35位	4,079億円(4%)

資料：農林水産省「農業センサス」、「耕地面積調査」、「農業経営統計調査」等

全国上位に位置する香川県の農産物

マーガレット

全国
1位

2,559千本
(H29年)



金時ニンジン

全国
1位

2,142t
(H28年)



オリーブ

全国
1位

380t
(H27年)



はだか麦

全国
2位

2,230t
(H30年)



ラナンキュラス

全国
3位

1,413千本
(H28年)



ヒマワリ

全国
3位

1,832千本
(H28年)



盆栽

全国
3位

58千鉢
(H29年)



ニンニク

全国
3位

745t
(H29年)



ブロッコリー

全国
4位

11,100t
(H29年)



モモ

全国
8位

1,140t
(H29年)



ビワ

全国
4位

226t
(H30年)



冬レタス

全国
6位

11,600t
(H29年)





香川県農業協同組合
経営管理委員会会長

港 義弘



香川県農業協同組合
代表理事理事長

木内 秀一

食と農を核にした心に響く総合事業サービスの提供により、 将来にわたり組合員・地域に必要なとされる組織であり続ける。

～農業と地域に全力投球～

JAは組合員や地域のみなさまの日常の『暮らし』そのものを事業とした組織体であり、その基本理念は、みなさまの営農と生活の向上を図り、その活動を通じて地域社会に貢献することにあります。

さらに、協同組合運動に共鳴した組合員ならびに地域住民参加のもと、地域農業を守るからこそが食料生産や環境保全などわが国の社会経済全体にとって有益であるものと確信しています。

当組合は、令和元年度から「農業と地域に全力投球」をスローガンに「第6次中期経営計画」と「第6次営農振興3ヵ年計画」に取り組んでいます。農業振興プラン、地域活性化プラン、組織・経営強化プランを設定し、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」を基本目標に掲げたJA自己改革に継続して取り組むこととし、策定した「農業振興・地域活性化アクションプログラム」を役職員一丸となって取り組んでいます。

経営理念

- 1 JA香川県は、農業振興を通じて、「食」と「農」と「緑」を守り、かけがえのない自然を次世代に引き継ぎます。
- 1 JA香川県は、地域のみなさまと共に生き、地域のみなさまとの共感の中で、心ふれあう地域づくりに取り組みます。
- 1 JA香川県は、高い倫理観と責任感を持ち、地域社会に貢献できる事業と組織づくりに取り組みます。

経営方針

1. 農業振興と地域社会への貢献

農業は、食料の安定供給や環境保全など生命維持産業として、私たちが「生きる」ことを根底から支えるものです。一方、農業をめぐる環境は、農業従事者の高齢化や後継者不足、農地の荒廃等に加え、市場原理の導入、内外価格差の縮小が求められているなか、農畜産物の輸入自由化が進展するなど極めて厳しい状況になっています。

このため、JAには、地域農業の特性を活かした基本目標を設定し、これらの実践を通じた農家所得の向上、地域の活性化、地域特産物の育成、低コスト高品質な作物づくりのための生産体制、生産基盤の整備、さらには健康・福祉・環境への取り組み、いきがづくり、伝統や文化の継承などを通じて住みよい地域づくりが求められます。

当JAは、「夢のある農業」、「活力ある地域社会」の実現のため、組合員と役職員が力と英知を結集し、地域特性や郷土さぬぎの風土を活かした農業振興と心のゆたかさを実感できる生活環境の提供に努めます。

2. 組合員と消費者の満足度向上

JAは日常生活のあらゆる場面に密着した事業を営んでいます。各種商品やサービスが多様化・高度化してきたなかで、利用者のニーズは安全、安心でかつ健康志向になってきており、さらにはゆとりや安らぎ、癒しを重視する傾向が見られています。

また一方でサービスの価値を形成するうえで、提供する側の「人」にも

質的な向上が要求されます。人材の育成を通じてJAが提供するサービスの質を高めるために、役職員の専門的知識とモラルの向上、また、併せて勤労意欲を高める人事管理制度の定着化の必要性を認識しています。

当JAは、「組合員と消費者の笑顔」を目標に、ニーズに応える商品・サービスの探求と人材の質的向上を常に追い求め、真心のこもった商品・サービスの提供に努めます。

3. 信頼と期待に応える経営

信用共済事業収支による経済事業収支の補填を期待した収支構造からの脱却と、より効率的・効果的な事業運営を徹底し、合併メリットを具体的に感じることができると事業運営の確立が必要です。また、度重なる不祥事を反省し、組合員や利用者からの信用を回復する取り組みが急務となっています。

このため、部門別自己責任体制の確立を図るとともに、多様化するリスクに対応するため、財務基盤の一層の強化に努めることと、経営の健全性と信頼性を高めるためのコンプライアンス態勢や各種リスク管理態勢の確立を図らなければなりません。

当JAは、「強靱な経営体質」と「透明感のある組織運営」を構築するため、財務体質の健全性向上とコンプライアンスを重視した組織風土の醸成に取り組めます。

主要事業取扱高

(単位：百万円) 平成30年度実績

貯金	1,824,386
貸出金	184,651
長期共済保有高	3,310,603
販売品取扱高	38,092
産直売上高	4,036
購買品供給高	19,879
生産資材	15,145
生活資材	4,733

組合員数

平成30年度末

正組合員	62,317人
准組合員	77,199人
合計	139,516人

組合員組織

平成30年度末

女性部	13,353人
青壮年部	642人

※「女性部」は、JA香川県女性部員数、「青壮年部」は、香川県農業協同組合青壮年部盟友数

役員数

令和元年7月1日

経営管理 委員	監事			理事
	内常勤	内常勤	内員外	
18人	1人	5人	1人	10人

職員数

平成30年度末

正職員	2,169人
嘱託・臨時職員	1,193人
合計	3,362人

連結子会社

令和元年10月1日

(株)JA香川県オートエナジー
(株)JA香川県ライフサービス
(株)香川県営農支援センター
(株)JA香川県フードサービス
農協食品(株)

JA香川県のあゆみ〈沿革〉

年月	主な出来事
昭和22年12月	農協法施行
23年 2月	志度町農協設立(県下総合農協設立第1号) 同年8月までに全183農協設立
7月	県信用農協連設立
8月	県厚生農協連設立
26年 4月	県経済農協連設立
29年10月	県農協中央会設立
12月	県共済農協連設立
36年 4月	農協合併助成法施行
8月	県施設農協連設立
40年 2月	綾歌南部農協設立(県下合併農協設立第1号)
42年 4月	県青果販売農協連設立
44年 3月	県下47農協体制確立
平成5年 2月	県農協45周年記念大会 (県単—JA構想について特別決議)
9年 6月	香川県単—JA調査研究協議会発足
10年 2月	県農協50周年記念大会 (県単—JAの早期実現に関する決議)
6月	香川県単—JA合併推進協議会発足
12年 4月	JA香川県設立(県下43JAが合併) 県共済農協連が全国共済連と合併(全国一斉)
9月	香川県農協女性部設立
13年 4月	総合情報システム稼働 (管理業務・購買業務・内部情報)
7月	経営管理委員会制度導入
10月	香川県経済連・香川県青果連・香川県施設連の包括承継
14年 1月	JAバンクシステムのスタート
11月	新信用事業システム「JASTEM」システムへの移行
15年 4月	JA高松市と合併
4月	自動車事業を(株)ジェイエイ香川オートサービスへ 第一次事業移管
9月	(株)JA香川県エネルギーサービスを設立登記 10月からJA-S S事業及びLPガス事業開始
16年 4月	自動車事業を(株)ジェイエイ香川オートサービスへ 第二次事業移管
4月	経営構造改革の実施
5月	販売業務システム稼働
10月	ISO9001認証を取得 (パールライス工場)
18年 3月	ISO9001認証を取得 (加工食品の製造及び委託製造の業務)
19年 6月	6地区本部体制の実施
21年 8月	JA香川県合併10周年記念式典
22年 7月	17統括店体制の実施(25年4月から18統括店体制)
25年 4月	JA香川豊南と合併(県1JAスタート)
26年10月	ファーマーズマーケット「讚さん広場」オープン
29年 4月	(株)JA香川県オートエナジー発足 (株)JA香川県エネルギーサービスと(株)ジェイエイ香川 オートサービスが合併)
令和元年 8月	JA香川県合併20周年記念式典
10月	(株)香川県農協電子計算センターがJA香川県に事業譲渡

事業案内

組合員・利用者のみなさまへのサービスが最大限に発揮できる組織をめざします

社会経済環境の急激な変化と生活者個々の価値観やライフスタイルが多様化するなか、地域の農業を守り、JAの組合員や利用者のみなさまにとって魅力のある事業活動に取り組んでいます。

また、役職員の倫理意識を高め法令遵守の組織風土を醸成するため、階層別・部署別コンプライアンス研修会の実践や内部管理態勢の整備など、コンプライアンス態勢の強化に取り組んでいます。

一方、対外的な広報活動としてプレスリリースや、新聞、テレビ、ラジオ、インターネット、SNSなどの媒体を活用し、生産者と消費者の交流を深め、相互理解の促進に努めています。また、組合員向けの広報誌「きらり」、一般向けのコミュニティ紙「あおぞらパレット」を定期発行しています。そして、支店が核となり地域に密着した協同組合ならではの活動を展開し、組合員や事業利用者との結びつきを強化する支店協同活動や、「農業への理解促進」「地産地消の促進」などを図るため、多彩なイベントを開催するなど食農教育に積極的に取り組んでいます。



通常総代会



香川県JAグループ感謝祭



広報誌「きらり」

コミュニティ紙「あおぞらパレット」

主な取り組み

- 自己改革の取り組み（「農業振興・地域活性化アクションプログラム」の着実な実践）
- 組合員や利用者の心を捉える事業経営の展開
- 計画経営の実践と部門別場所別損益管理の徹底による経営の効率化
- コンプライアンス態勢の整備強化
- 内部管理態勢の整備
- 組合員向けの広報誌、職場内広報誌、一般向けコミュニティ紙の定期発行
- プレスリリースや新聞、テレビ、ラジオ、インターネット、SNSの媒体利用による対外広報活動の実践
- 支店協同活動
- 食農教育への取り組み強化



食農教育への取り組み



ゴミ（ゼロ）清掃活動

営農事業

未来につなぐ魅力ある農業をめざして

温暖な瀬戸内海の気候と豊かな大地に恵まれた香川県では、自然環境や立地条件を有効に活用して米、麦、野菜、果樹、花き、酪農、肉牛、肉豚、鶏卵、ブロイラーなどを組み合わせた生産性の高い農業が営まれています。

営農部門は、地域を基盤として農業生産と生活を営む組合員のみなさまとともに、地域の実情に合わせた営農振興に取り組んでいます。また、多様な担い手づくりとそれぞれの営農形態に対応した支援を行うため、＜農業者の所得増大×農業生産の拡大×地域の活性化＞の三つの重点目標を定め、『農業と地域に全力投球』を合言葉にその実現に取り組んでいます。



営農指導風景

活動と事業

- 安全・安心な農畜産物の生産と販売
- 営農指導
- 農業インターン制度
- JA青壮年部活動
- 無料職業紹介所「アグリワーク」

経済事業

ゆたかでやすらぎのある地域社会をめざして

経済部門では、農家組合員の生産コストの低減を図るため、予約を基本とした仕入れ機能の強化と低価格な資材及び農機の開発・普及および効率的な輸配送をめざして、物流改革に取り組んでいます。

また、安全・安心および地産地消をコンセプトにした食品等の提供、県産農畜産物を使用したJA香川県オリジナル商品の開発、ファーマーズマーケット「讚さん広場」を含めた農産物直売事業、住宅、リフォーム、資産管理、葬祭関連事業、パールライス（精米）事業等に積極的に取り組み、ゆたかでやすらぎのある地域社会をめざしています。

活動と事業

- ISO9001認証取得による品質管理
- 生産資材
- 農業機械
- 住宅、資産管理
- 葬祭関連
- ギフト
- クミアイ家庭薬
- パールライス
- その他日用品・食品の供給
- 産直

施設と事業所

- カントリーエレベーター
- 育苗センター
- 共同選果場
- 集荷場
- 直営農場（JA自らが行う農業経営）
- ふれあいセンター（農業資材などの供給）
- 産直（農産物直売所）
- ファーマーズマーケット
- 農機センター（農機具の販売・修理点検）
- パールライス精米センター

JA香川県 オリジナル商品



【ほんまもんシリーズ】



事業案内

信用事業

農業と地域に貢献できる金融機関をめざしています

貯金・貸出・為替などいわゆる銀行業務を行っています。「JA・信連・農林中央金庫」という全国組織が有機的に結びつき、「JAバンク」として大きな力を発揮し、農業と地域に貢献できる金融機関をめざしています。

組合員はもちろん、地域住民のみなさまや事業主のみなさまから、普通貯金、定期貯金などの各種貯金をライフサイクルにあわせてご利用いただいています。また、公共料金、県税、市町民税などの各種料金のお支払いや、年金、給与などのお受け取りもご利用いただけます。さらに、JAキャッシュカードは、全国のJAはもちろん、銀行、信用金庫、コンビニエンスストアなどのキャッシュコーナーでご利用になれます。

貸出業務は、農業関連資金はもとより、住宅ローン、マイカーローンなどの各種ローンから事業資金まで、幅広く取り扱っています。

そのほか、お持ちのパソコンやスマートフォンから、お取引ができる「JAネットバンク」や「JAネットローン」もご利用になれます。さらに相談機能も充実し、資産形成・資産運用や年金相談などのマネープラン全般に対応しています。



主な金融商品や取扱い業務

- 貯金[普通貯金、定期貯金、定期積金]
- 総合口座
- 各種ローン[マイカーローン、教育ローン、住宅ローン]
- 農業融資[アグリエース、サンライズ]
- 農業近代化資金など各種制度資金の融資
- 日本政策金融公庫、住宅金融支援機構などの業務取扱
- 内国為替業務
- JAカード(クレジットカード)
- 税金・公共料金の引き落とし、年金・給与のお振込みなど
- 年金相談、税務相談、資産運用相談
- JAネットバンク

共済事業

「ひと・いえ・くるまの総合保障」で大きなサポートをお届けします

JA共済では、組合員・利用者のみなさまが不安なく暮らせるよう、「ひと・いえ・くるまの総合保障」を通じ、生活全般に潜むリスクを幅広く保障しています。それぞれの目的やライフサイクルに応じて充実した保障を提供し、みなさまの毎日の暮らしをバックアップしていきます。

また、ペーパーレス・キャッシュレス手続きを中心とした新事務手続きにより「ひと・いえ・くるま」のすべてでご利用いただけるようになり、より簡単、より迅速な契約手続きを実現しています。なお、支店では、組合員・利用者のみなさまに、より満足いただけるよう、専門スタッフ(渉外担当者および共済窓口担当者)を中心とした高度なサービスの提供に努めています。



「ひと」… 一生にわたり万が一を保障する「終身共済」や病気やケガによる入院・手術を手厚く保障する「医療共済」、平成31年4月に新設した、「生前贈与の機能」をプラスした「一時払終身共済」などさまざまな保障プランがあります。

「いえ」… 火災はもちろん、地震を含む自然災害など、さまざまなリスクに対応し幅広い保障でマイホームをしっかり守る建物更生共済「むてきプラス」があります。

「くるま」… 自動車事故による相手への賠償(対人・対物)はもちろんのこと、ご自身やご家族の乗車中や歩行中の自動車事故による損害(傷害保障・車両保障)など幅広く保障する自動車共済「クルママスター」があります。

JA共済のラインナップ

- ひと 終身共済、医療共済、がん共済、介護共済、生活障害共済、予定利率変動型年金共済、養老生命共済、こども共済、傷害共済 など
- いえ 建物更生共済(むてきプラス)、火災共済
- くるま 自動車共済、自賠責共済

支払余力の状況(平成30年度末)

JA共済(全国計)の支払余力比率※

1082.9%(健全経営の水準200.0%)

※支払余力(ソルベンシー・マージン)比率とは、通常の予測を超えて発生する諸リスク(大規模自然災害など)に対応するため、どのくらいの支払余力を備えているかを判断するための経営指標のひとつです。(平成23年度末より新基準が適用されています。)

JA香川県の仕事

営農担当

生産者のみなさまに寄り添って

私は園芸課で営農指導員として営農指導に従事しています。品目としてはイチゴ・ナバナ・スイートコーンをメインに、ニンニク・花き類を補佐として担当しています。栽培方法・病害虫の知識をはじめとして知らなければならないことは多いですがその分やりがいも感じています。

営農指導といっても相手はプロの生産者の方です。紙の上での情報を伝えるだけでは何も伝わらないと考え、実際に自らがやってみることでしか知り得ない情報を取り込み、それを反映し生産者のみなさまに寄り添った指導ができるように努力していきたいです。



営農部 園芸課
安村 尚将 (平成29年度入組)

渉外担当

謙虚さを忘れず、笑顔で明るく

私は複合渉外業務を担当しています。集金業務や組合員・利用者のみなさまのニーズに合った信用・共済商品のご提案を行っています。

お客さまとお話ししていくうちに私の名前を覚えてくださったり相談を受けたり、信頼していただいていることがとてもうれしく、やりがいを感じています。また、私もお客さまから人生の先輩として教えていただくことも多く、刺激を受け充実した毎日を送っています。今後もお客さまひとりひとりに寄り添えるよう、謙虚さを忘れずに笑顔で明るく渉外活動に取り組んでいきたいです。



香川浅野支店 業務課
藤原 絢香 (平成29年度入組)

窓口担当

毎日笑顔で親切、丁寧な対応を

私は、信用窓口を担当しています。窓口業務や出納業務、相続手続きなどに関する事務を行う中で、自分の名前を覚えていただき、訪ねてくださる組合員・利用者のみなさまができました。

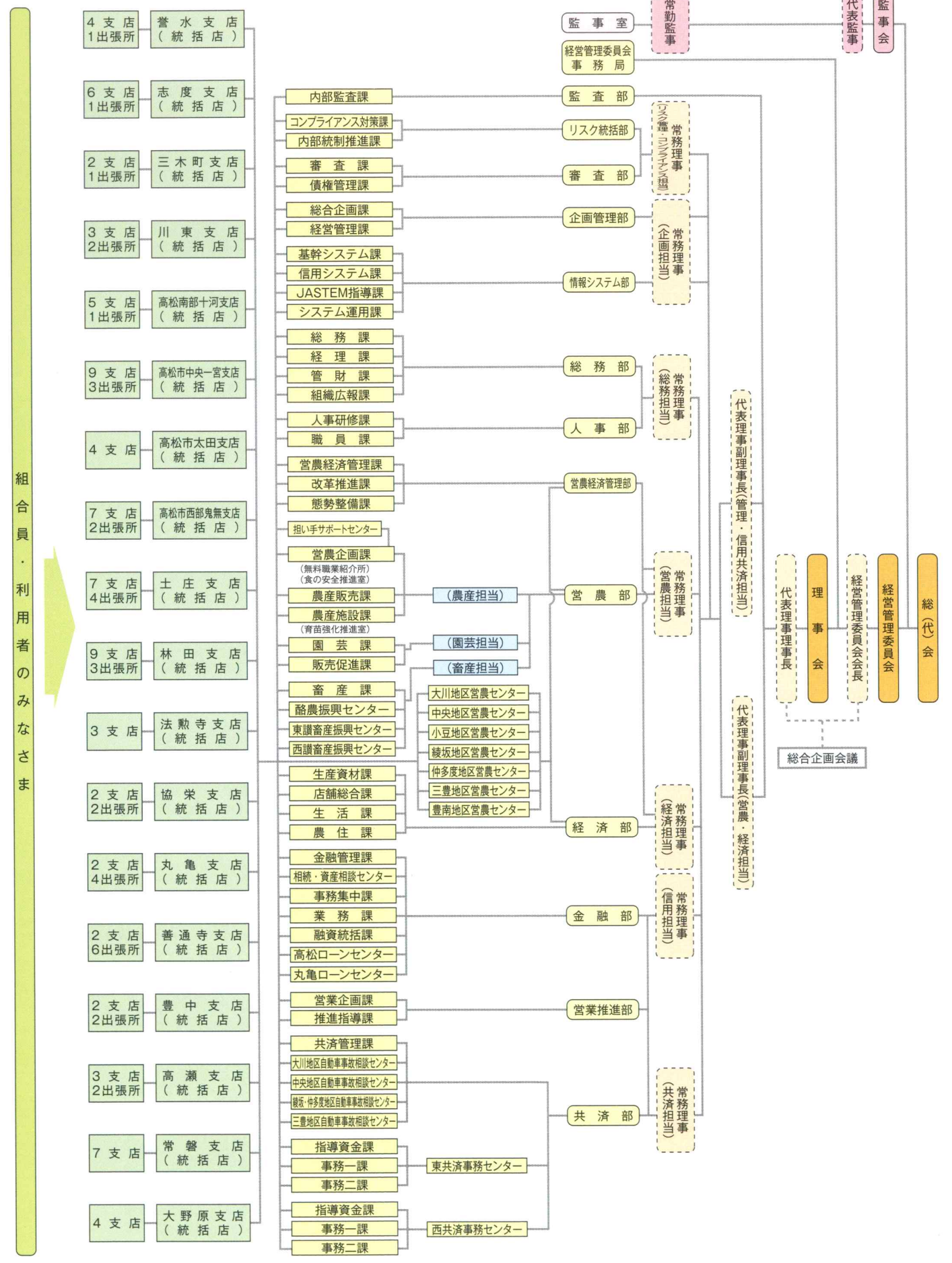
お客さまと接する中で「ありがとう」と感謝の気持ちをいただける時にとってもやりがいを感じます。また、なにげない日常会話から情報を収集し、ニーズに合った商品提案を心掛けていきます。今後も、毎日笑顔で親切、丁寧な対応をしていきたいと思えます。



木太北部出張所
白井 裕子 (平成29年度入組)

組織機構図

(令和2年1月14日現在)



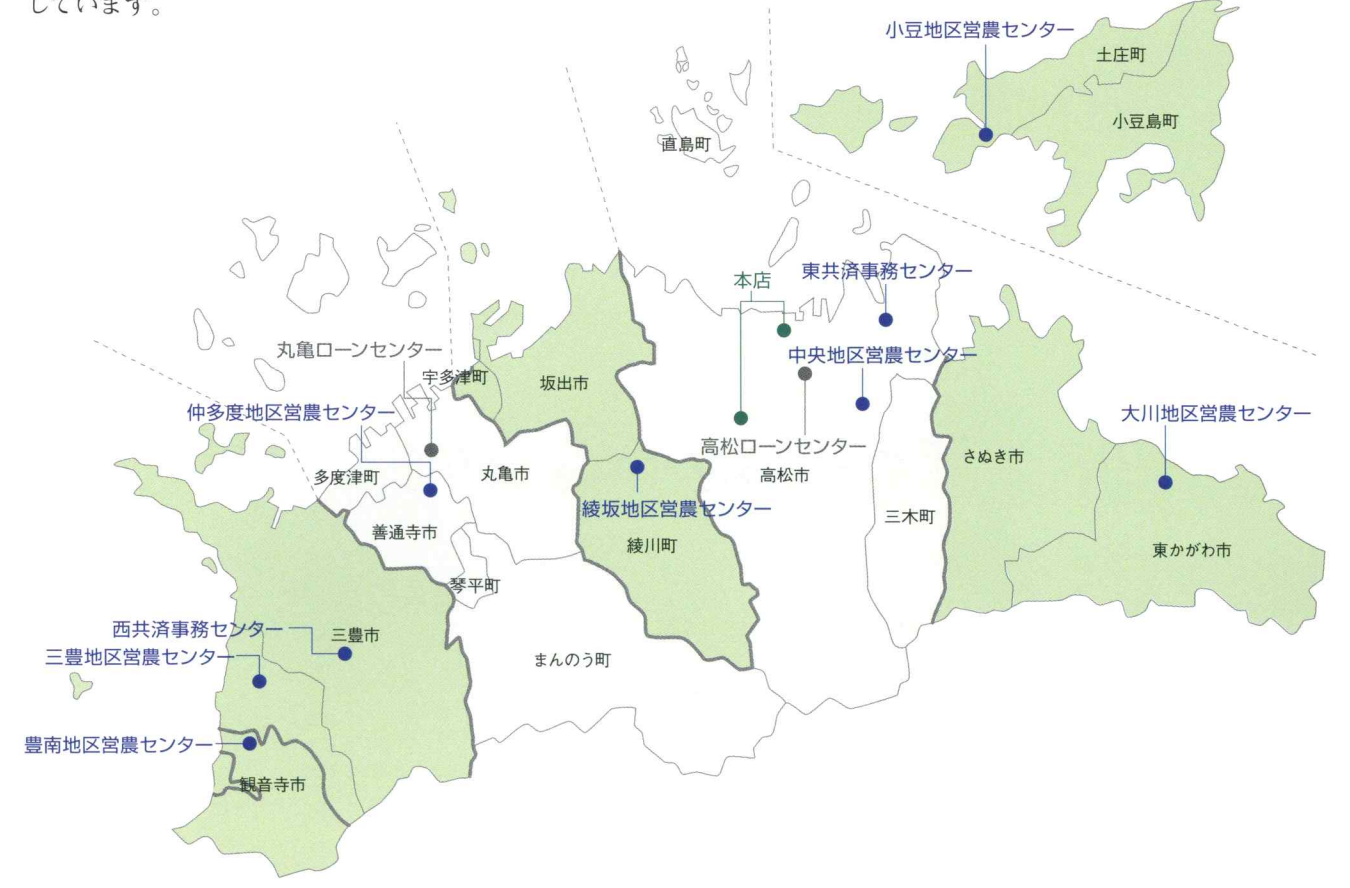
組合員・利用者のみならず

営農センターと統括店を核に 地域密着型営農振興と 高度なサービスの提供を実践しています

ひとくちに香川県といっても、島あり瀬戸内海沿岸地域あり、平野あり、中山間地域あり…と、讃岐の大地は西に東に、多様な風土をそなえています。

営農経済事業は、地域の特性を生かして戦略的な事業展開を推進するため、7つの営農センターを設置し、営農指導員をはじめとする職員がより地域に近いところで事業に取り組んでいます。

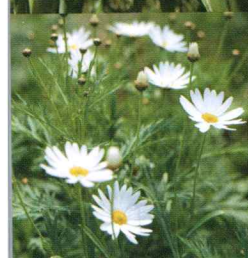
また信用・共済事業では、本店・統括店・支店・出張所が直結した体制による利便性に富み満足度の高いサービスを提供しています。



店舗案内

(令和2年1月14日現在)

店舗名	所在地	電話番号
JA香川県本店	高松市寿町一丁目3-6	087-825-0210
監事室	高松市寿町一丁目3-6	087-825-0210
経営管理委員会事務局	高松市寿町一丁目3-6	087-825-0213
監査部	高松市寿町一丁目3-6	087-825-0334
リスク統括・コンプライアンス部門	高松市寿町一丁目3-6	087-825-0336
審査部	高松市寿町一丁目3-6	087-825-0237
企画管理部	高松市寿町一丁目3-6	087-825-0205
情報システム部	高松市動使町536-1	087-868-8741
総務部	高松市寿町一丁目3-6	087-825-0200
人事部	高松市寿町一丁目3-6	087-825-0207
金融部	高松市伏石町2047-1	087-865-0686
高松ローンセンター	丸亀市田村町1274	0877-58-3570
丸亀ローンセンター	高松市寿町一丁目3-6	087-825-0226
共済部	高松市寿町一丁目3-6	087-825-0343
東共済事務センター	高松市高松町2170-1	087-818-0329
西共済事務センター	三豊市山本町西田1455-1	0875-63-1282
営農経済部門	高松市一宮町1431-1	087-818-4134
大川地区営農センター	東かがわ市中路53-2	0879-26-0840
中央地区営農センター	高松市下井町367-1	087-847-3901
小豆地区営農センター	小豆郡土庄町甲290-1	0879-61-1717
綾坂地区営農センター	綾歌郡綾川町4742-1	087-876-9677
仲多度地区営農センター	綾歌郡上吉田町六丁目12-1	0877-64-0612
三豊地区営農センター	観音寺市福田町1735	0875-25-0260
豊南地区営農センター	観音寺市大野原町大野原1931	0875-54-3124
大川地区	東かがわ市中路45-1	0879-25-3477
丸亀地区	丸亀市丸亀北支店	0879-98-3101
綾坂地区	綾歌郡綾川町	0877-47-1090
仲多度地区	仲多度郡まんのう町	0877-98-3101
中央地区	高松市	0877-75-3191
丸亀支店	丸亀市	0877-22-8201
三豊支店	三豊市	0875-62-3181
小豆支店	小豆郡	0879-61-1710



シンボルマーク

JA香川県は、誕生と同時に新しいシンボルマークを設定しました。

JA香川県の頭文字「K」を形の基本として、全体として「人」を表し、人を大切にするJAを第一に表現しています。年間日照時間が長く、温暖な香川県の環境地域性を太陽で表現し、あたたかさや強さを示します。色は「光」のオレンジ、「水」のブルー、「大地」のグリーンの3色を使用。グリーンを基調とすることで、色のバランスからもJAらしさをイメージさせています。

県内のJAと関連施設で、また、農産物が出荷される全国のまちで、「あたたかくて、元気」なJA香川県の顔として活躍中です。

JA KAGAWAKEN ORIGINAL CHARACTER “JA-MAN”

香川大好きJAマン!!

香川の最新情報を
キャッチするアンテナ

JA香川県のことなら
なんでも知ってるJAマン!
当然新しいことにも敏感です。

いつもニコニコ

JAマンは優しく親切です。
でもちょっとマイペースな性格です。

いつも元気!その理由

栄養バランスを考えて食事しています。
大好きな讃岐うどんを食べる時は
野菜の天ぷらもいっしょに食べます。

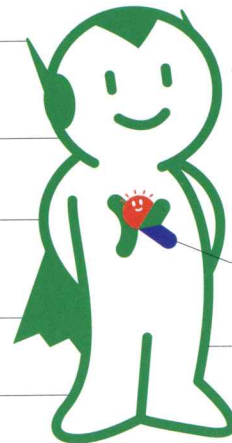
空を飛べるマント

ゆっくりですが空を飛ぶことができます。
歩いたほうが速いです。

歩くのが大好きな足

香川県をいろいろ散策してまわります。
そしていろんな人や物と出会います。

JA香川県の
いろいろな情報を
みなさんに楽しく
お伝えしていきます。
どうぞよろしくネ!!



胸にはJA香川県のマーク

胸に輝くこのマークはJAマンがJA香川県の
オリジナルキャラクターである証です。

体は香川県産小麦100%

JAマンの体は香川県産小麦100%と
香川のきれいな水、良質の塩で出来ています。
コシの強い男の子です。



〒760-0023 高松市寿町一丁目3番6号

<http://www.kw-ja.or.jp/>